

令和5年4月12日（水）

令和5年度 新入生オリエンテーション

学校長 下村 昌弘



1 はじめに

1年生の皆さん。新しい学校生活が始まった。中学校時代は心も身体も不安定で、いわゆる“一番めんどくさい時期”。しかし、不安定なのは変化しているからであり、変化は成長でもある。心の揺れや体の変調は自然の摂理と思って安心してほしい。それと戦うよりもそれ

を受け止めることのほうが賢い生き方であるとわきまえよ。

昨年4月から民法が改正され、成人年齢が18歳になった。あと2年で大人の仲間入り。大人とは自分で判断し自分で行動し自分で責任を取ること。それまでに高校でたくさん失敗してたくさんやり直して、立ち直る力をつけてほしい。

2 武高に誇りを

数ある高校の中から武高を選んでありがとう。本校の伝統と校風を引き継いでくれるのにふさわしい人たちが集まってくれていることに感謝している。

その分、皆さんにはこの学校のことをよく知ってもらいたいし、何より誇りを持ってもらいたい。

〔武雄はパイオニアを生み出す地〕

薩長土肥の雄藩の一角肥前佐賀藩。藩の技術的な後ろ盾、先進的な学問導入や技術習得を促したのはこの武雄藩。



明治の初め岩倉使節団の全権副使として世界を回った山口尚芳を知って“ますか”？

武雄藩第28代領主鍋島茂義は早くから西洋科学に注目し、山口尚芳らに蘭学や英語を学ばせ多くの有為の人

材がこの御船山の懷から巣立った。

茂義は精鍊方で蒸気船製造の責任者に任せられた名君。

塚崎城二の丸（現在の武雄高校図書館付近）の鑄造所でオランダ式大砲を製造。大砲製造に欠かせない反射炉のレンガをはじめ、理化学実験用のガラス器具など、ここにあった窯で作られた。

明日夕べに仰ぎ見る 御船の山の氣高さよ

明るく清きこの胸に高き理想は燃ゆるなり

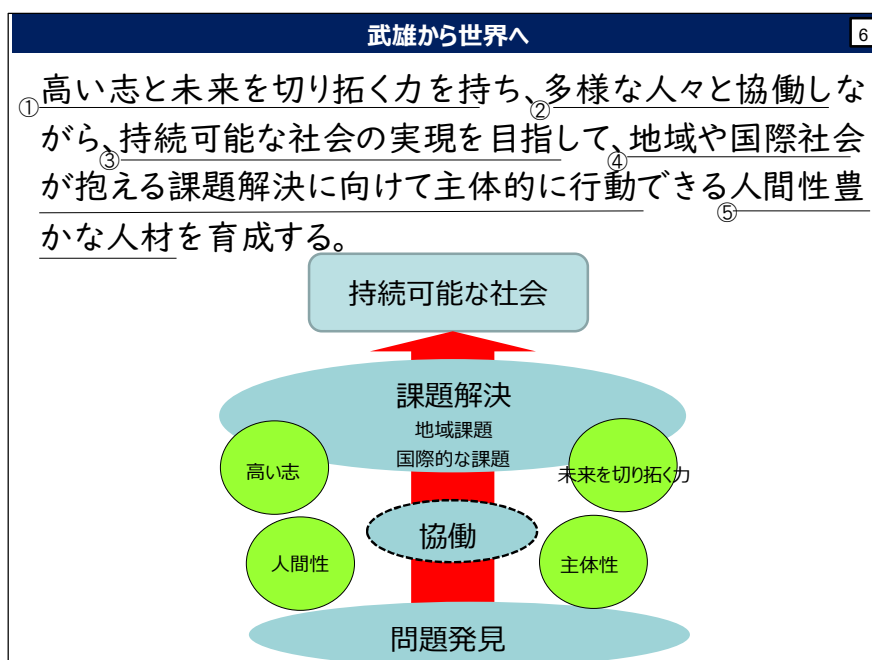
その意味で、御船山は日本近代の始まりを象徴する山。地方からの変革を担う若者の育成こそが武雄高校の使命。この校地全体は大きなパワースポット。皆さんも志を持って日本に世界に羽ばたいてほしい。

〔校章は象徴するもの〕

- ・ 3つの峰を持つ御船山をモチーフ
- ・ 緑のグラデーションは燃える若葉のイメージ
- ・ 中央の六角形は中高一貫の6年間を表している
- ・ 全体として高い志を持って未来に羽ばたいていく若者の姿を現している



学校教育目標



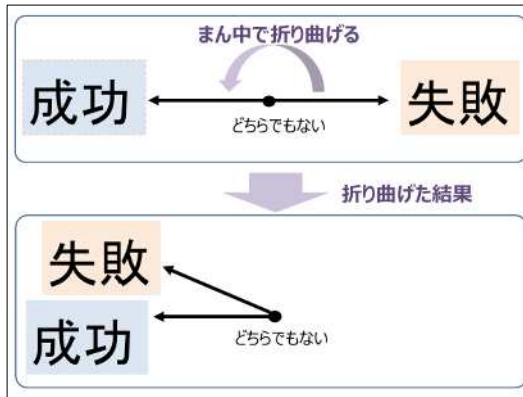
3 失敗を恐れずに行動すること

「好き」の反対は？ 「嫌い」。

「賛成」の反対は？ 「反対」。

では、「成功」の反対は？ そう「失敗」。

こういうのを反意語（反対の意味を持つ言葉）というが、これをちょっと別の角度から見てみることで、新しいものの見方ができる。



例えば、今例に出した「成功」と「失敗」の関係。

これは反対の意味なので、こんなふうに両端に位置する。

では、これをまん中から折り曲げてみる。

すると、左の端には「成功」と「失敗」が重なるように並び、「成功」と「失敗」の差は少ししかない、あるいは表と裏の関係といった感じになる。

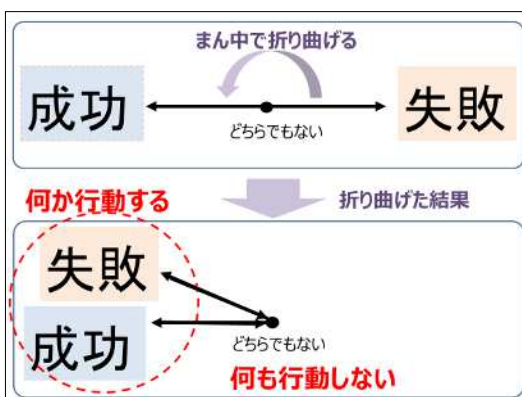
そして、この線の右端は、「成功でも、失敗でも、どちらでもない」状態ということになる。

では、ここでいう、「成功でも、失敗でもない」とはどんな状況だろう。

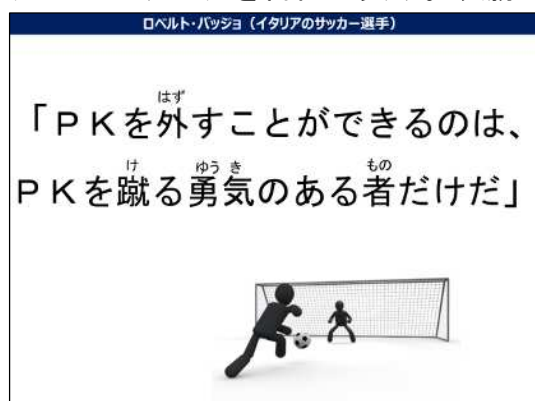
そもそも、「成功」とか「失敗」という状態はどうやって生まれるかというと、「行動して、うまくいけば「成功」だし、うまくいかなければ「失敗」。

ということは、「成功」「失敗」の反対は「何も行動しない」ということになる。

この図からも分かるように、実のところ、「成功」と「失敗」は紙一重で、それらの反対の言葉は「何もしない」ということなのだ。



昨年末、サッカーのカタール・ワールドカップで日本代表はドイツ、スペインを下してグループリーグを首位で突破。決勝トーナメントでクロアチアにPKの末に敗れた。



PKに関して、イタリアのサッカー選手、ロベルト・バジヨは「PKを外すことができるのは、PKを蹴る勇気のある者だけだ」と言っている。

サッカーをやっている人はもちろん、やったことのない人でも、PK（ペナルティ・キック）の場面は見たことがあるだろう。とても緊張する場面だ。成功するも失敗するも紙一重。キッカーは自分で立候補したという。それにチャレンジする勇気が尊い。

また、3月末のWBCで侍ジャパンが世界一。準決勝のメキシコ戦で、劇的なサヨナラ勝ち。大谷翔平選手が気迫の二塁打。続く吉田正尚選手がフォアボール。次に予選から不調に苦しんだヤクルトの4番村上宗隆選手もバンドではなく、強振。その結果、フェンス直撃のヒットとなり逆転。大いに盛り上がった試合だった。挑戦し続けることが素晴らしい。

4 「勉強」の意味

勉強

字の成り立ちを調べてみた。「勉」＝「免」＋「力」

「力」は鍬や鋤の象形文字。「免」は女性が赤ちゃんを産み落とす姿。

つまり、「勉」には相当な力があるというメッセージが込められている。

「強」＝「弘」＋「虫」

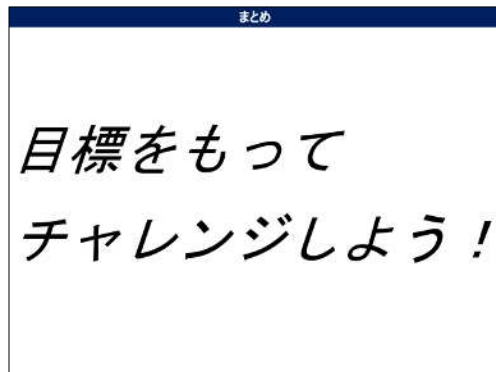
「弘」は弓に弦がかかっている象形文字。「虫」は切れない糸を吐く“テグス”という昆虫。つまり、「強」には切れない弦を張った強力な弓の意。

「勉強」にはつらさに耐えて頑張る気迫が込められた言葉。“音楽でも聴きながら楽しん

で勉強”なんてのは本来あり得ない。

みなさん、覚悟を決めて激しく「勉強」しよう。

4 おわりに



目標を持つこと、志を立てること。

できない理由を並べるのではなく、やるためにはどうするか、それをこそ、皆さんは考えよ。失敗を恐れずにチャレンジする人にこそ、成長は訪れる。

武雄高校は今も昔もそういう学校だ。

志を持って目標をもって果敢にチャレンジするものに道は開かれる。武雄高校生としての誇りをもって、これからの皆さんの頑張りに期待している。